

腹腔鏡下 小児単径ヘルニア手術



市立大津市民病院では、小児単径ヘルニアに対して、きずが小さく痛みの少ない腹腔鏡下手術（LPEC）を行っています。

単径部（下腹部の足の付け根付近）が膨らんでくる疾患で、「脱腸」と呼ばれています。膨らみは泣いている時や排便時など、腹圧が高くなった時に見られますが、通常は自然に戻ります。しかし、膨らみが戻らず、激しい痛みを伴うことがあります。それを「ヘルニア嵌頓（かんとん）」といい、緊急手術が必要になる場合もあります。単径ヘルニアは嵌頓の危険性があるため、手術をお勧めします。当院では 1 歳以上のお子さんに日帰り入院での手術を行っています。



腹腔鏡下小児単径ヘルニア手術（LPEC）について

単径ヘルニアの手術には従来行われてきた、単径部を 2～3 cm 切ってヘルニア囊の根元を糸で結ぶ手術（Pott's 法など）と、腹腔鏡下手術があります。

腹腔鏡下小児単径ヘルニア手術（LPEC）のメリットとしては、

- ・きずが小さいので目立たず、術後の痛みが少ない。
- ・反対側のヘルニアの有無が確認でき、発見した場合は同時に手術することが可能。

等が挙げられます。

- すべての小児単径ヘルニアが、腹腔鏡下手術の適応ではありません。診察の結果で判断します。
- 腹腔鏡下での手術が困難と判断した場合には、途中から通常の手術（開腹手術）に変更する場合があります。

おおよその入院期間と費用について

手術名称	入院期間	年齢	概算費用 (限度額適応なしの場合)
腹腔鏡下単径ヘルニア手術	1 日	3 歳未満	2 割負担：約 13 万円
		3 歳以上 6 歳未満	2 割負担：約 13 万円
		6 歳以上 15 歳未満	3 割負担：約 15 万円

概算は、限度額を適応していない金額です。

※70 歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約 370 万～770 万円)の方で 10 万円前後です。

※70 歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で 57,600 円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。